

若手研究者の登竜門「電気通信普及財団賞」が募集開始

人文学・社会科学、技術・工学、文理融合の研究論文・著作を募集中

公益財団法人電気通信普及財団（所在地：東京都港区、理事長：武内信博）では情報通信に関する優れた研究論文・著作等を表彰し、その功績を顕彰しています。また、同分野の大学の学部生もしくは大学院生（修士課程、博士課程）が在学中に行った情報通信に関する優れた研究論文等も表彰しております。

このたび電気通信普及財団賞事務局では2022年6月1日より、「2022年度第38回電気通信普及財団賞」にむけた研究論文・著作の受付を開始しました。みなさまからのご応募お待ちしております。

なお学生賞は学生個人の功績を鑑み、授与されるものです。審査に当たっては、応募論文の質を第一優先に考えますが、付加的要素として論文に対する学生の貢献度と学会発表などの実績などが考慮されます。



2022年度第38回電気通信普及財団賞募集要項

【応募の対象】

<表彰部門及び応募対象となる研究論文・著作>

(1)テレコム人文学・社会科学賞

情報社会の進展や情報化が人間や社会に与える影響など、情報通信と法律、経済、社会、文化等との関係等について、人文学・社会科学の観点から研究したもので、原則2021年1月1日以降に出版された著作、学術誌に掲載、又は国際会議などで発表された研究論文等を対象とします。

(2)テレコムシステム技術賞

情報社会の進展に貢献する情報通信技術の開発、応用等について技術的、工学的観点から研究したもので、原則2017年1月1日以降に学術誌に掲載、又は国際会議などで発表された研究論文、出版された著作等、及び原則2012年1月1日以降に採択された情報通信に関する国際標準のもととなった研究論文または寄与文書を対象とします。

(3)テレコム学際研究賞

情報通信に関する人文学・社会科学分野と技術分野の両分野にわたる研究を行ったもので、原則2021年1月1日以降に出版された著作、学術誌に掲載、又は国際会議などで発表された研究論文、及び原則2012年1月1日以降に採択された情報通信に関する国際標準のもととなった研究論文または寄与文書を対象とします。

※ テレコム学際研究賞は、人文学・社会科学賞やシステム技術賞には応募しづらい中間領域のテーマや、技術の社会実

装における政策課題、社会的に認知されていない課題を問題提起するような研究テーマの応募も期待するところです（別添「電気通信普及財団賞 テレコム学際研究賞の応募テーマ例」を参照してください）。

(4)テレコム人文学・社会科学賞生賞

大学の学部若しくは大学院（修士課程又は博士課程）に在学中に、情報通信の普及、発展、振興について人文学・社会科学の観点から実施した研究をとりまとめた論文をもとに、受賞者を決定します。

(5)テレコムシステム技術学生賞

大学の学部若しくは大学院（修士課程又は博士課程）に在学中に、情報通信の普及、発展、振興について技術的、工学的観点から実施した研究をとりまとめた論文をもとに、受賞者を決定します。

(6)テレコム学際研究賞学生賞

大学の学部若しくは大学院（修士課程又は博士課程）に在学中に、情報通信に関する人文学・社会科学分野と技術分野の両分野にわたる研究を実施してとりまとめた論文をもとに、受賞者を決定します。

※テレコム学際研究賞学生賞は、人文学・社会科学学生賞やシステム技術学生賞には応募しづらい中間領域のテーマや、技術の社会実装における政策課題、社会的に認知されていない課題を問題提起するような研究テーマの応募も期待するところです（別添「電気通信普及財団賞 テレコム学際研究賞の応募テーマ例」を参照してください）。

<応募の対象者>

(1)テレコム人文学・社会科学賞

(2)テレコムシステム技術賞

(3)テレコム学際研究賞

研究論文・著作等の著者の方（著者及び共著者の方）

若手研究者の方の研究活動に着目するようにしています。

(4)テレコム社会科学学生賞

(5)テレコムシステム技術学生賞

(6)テレコム学際研究賞学生賞

応募時において在学中か、卒業・修了後1年未満であること。

また、大学の学部もしくは大学院（修士課程又は博士課程）に在学中に研究内容をとりまとめ、学会などに論文を投稿した方。

在学中にとりまとめて投稿した論文が対象で、卒業・修了後に投稿した論文は対象外です。

【表彰金及び件数】

(1)テレコム人文学・社会科学賞

(2)テレコムシステム技術賞

(3)テレコム学際研究賞 それぞれについて、

入賞5件以内（賞金各100万円）

奨励賞数件程度（賞金各50万円）

きわめて優れた著作・論文等に対する特別賞（1件につき200万円）を授与します。

(4)テレコム社会科学学生賞

(5)テレコムシステム技術学生賞

(6)テレコム学際研究賞学生賞 それぞれについて、

入賞10件以内（賞金各50万円）

奨励賞5件程度（賞金各30万円）

きわめて優れた著作・論文等に対する学生賞最優秀賞（1件につき80万円以上）を授与します。

【募集期間】

応募エントリーは、2022年6月1日～2022年9月30日 午後5時まで

書類の郵送は、2022年9月30日（消印有効）

【応募方法】

応募用紙やその他の必要書類のダウンロード、応募手順の確認、応募用紙記入時の注意事項、応募先等は電気通信普及財団賞のホームページをご覧ください。（URLは以下のとおり）

（推薦書の提出について）

テレコム人文学・社会科学賞、テレコムシステム技術賞、テレコム学際研究賞において推薦書は「任意」ですが、著者以外からの推薦書とします。（第38回より変更）

技術学生及び学際学生は、先生等の推薦が「必須」で、学生の貢献度などの証明となります（推薦書の様式あり）。

社会学生は、単著の場合において「任意」、学生以外の共著者がいる場合は「必須」です（推薦書の様式あり）。

◎募集と手順について（応募用紙ダウンロード、必要書類一覧、応募手順等）

<https://www.taf.or.jp/award/2022-38th-application.html>

◎別添「テレコム学際研究賞の応募テーマ例」を含む応募要項（PDF）

本賞 <https://www.taf.or.jp/files/items/1891/File/第38回電気通信普及財団賞-本賞-募集要項.pdf>

学生賞 <https://www.taf.or.jp/files/items/1891/File/第38回電気通信普及財団賞-学生賞-募集要項.pdf>

◎推薦書の押印省略について

<https://www.taf.or.jp/news/20200428.html>

（テレコムシステム技術賞、テレコム学際研究賞、テレコムシステム技術賞（同学生賞）に応募される方は必要書類を郵送するほか、電気通信普及財団の電子申請システムにてマイページを取得し、必要書類を全てPDFファイルで提出していただきます。）

【選考結果】

2023年3月に受賞者の方に通知し、当財団のホームページ等に掲載します。

【その他】

- 受賞者には、電気通信普及財団のホームページ等への掲載のための情報提供や、電気通信普及財団主催のイベント等における受賞著作/論文に関するフレセメンテーションなどに協力をいただきます。
- 応募に関し記載された個人情報については、法令及び当財団の内部規程に従い、適切に取り扱います。
- 受賞者の氏名、研究論文、著作等の名称、賞金額について一般に公開します。また、これらの受賞に関する情報を公益財団法人助成団体センターに提供します。応募書類及び研究論文、著作等は返却しません。
- 応募に際しては、応募時及び論文投稿時の著作者の所属、役職、学年を応募申込書の所定欄に記載していただきます

【お問い合わせ】

電気通信普及財団賞事務局(土日祝は休業)

お問い合わせフォーム：<https://www.icr.co.jp/taf/contact.html>

電話:03-3663-8024（受付時間:平日10:00~17:00）

※電気通信普及財団賞の事務局運営に係わる業務は、公益財団法人電気通信普及財団から株式会社情報通信総合研究所に委託しております。

公益財団法人電気通信普及財団のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/58961

